



例年よりも20日以上も早く、東海地方は梅雨の時期に入りました。雨の期間がこれから長く続くのか？それとも、梅雨明けも例年以上に早く、猛暑の季節がすぐにやってくるのか？新型コロナウイルス感染症の行く末と同じで、なかなか予測はできません。新型コロナウイルス感染症の心配とともに、これからは湿気や暑さで体調を崩しやすい時期でもあります。引き続き、健康管理に気をつけて、毎日を過ごして行きましょう。



以下は、5月11日（火）に太田稔彦豊田市長が市民に向けて出したメッセージです。

市民の皆様へのメッセージ (緊急事態宣言の発令を受けて)

- 明日から愛知県に緊急事態宣言が発令されます（5月12日～5月31日）。これにより、県民・事業者に対して以下のとおり要請がされます。
 - ・ 不要不急の行動の自粛
 - ・ 飲食店での午後8時までの営業時間の短縮
 - ・ 県をまたぐ不要不急の移動の自粛
 - ・ 酒類やカラオケ設備を提供する店への休業要請
- 現在、愛知県内においては、感染拡大傾向が継続し、新規感染者数は過去最高の水準にあり、医療提供体制も逼迫しつつあります。
- 最近の新規感染者の傾向をみると、現役世代（50歳代以下）の占める割合が増加しており、職場や友人、知人との接触から家庭内へと広がっている傾向が見られます。
- 市民の皆様には下記の点をもう一度認識していただき、より一層の感染予防策の徹底をお願いいたします。
 - ・ マスクをしていても「3密」を避けるなど注意が必要
 - ・ マスクを外した時が最も危険
 - ・ 屋外でも安心しない（屋外での飲食にも感染リスクはある）
 - ・ 手指消毒のタイミングを再確認
- 感染予防対策の肝となるワクチン接種については、7月末までに65歳以上の高齢者の皆さんのワクチン接種が完了するよう準備を進めています。
- 市民の皆様におかれましては、改めて「感染しない・させない」の考えで日常生活を送っていただき、特に、マスクの着用、手洗い・手指の消毒・「3密」の回避、この3つの基本的な取組の徹底をお願いします。また、これからの時期は、熱中症予防にも十分気をつけていただくようお願いいたします。

令和3年5月11日

豊田市長 太田 稔彦

学校では「感染症対策を講じてもお感染のリスクが高い学習活動」は行わないこととしています。各教科に共通する活動として、「生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」「近距離で行う理科の実験や観察、音楽における合唱やリコーダー等の管楽器演奏、美術における共同制作等の表現や鑑賞の活動、技術・家庭における調理実習、保健体育における生徒が密集する運動や組み合ったり接触したりする運動」などを中止します。



タブレットを活用した活動を積極的に行っています

1年生のタブレットも整備され、すべての学年が授業をはじめ学校の教育活動のさまざまな場面で、タブレット端末を活用した活動ができるようになりました。学校の教員にとっても、これまでにない経験なので、試行錯誤を繰り返しながら、少しでも有効にタブレット端末が活用できるように研修を積んでいます。

各教科の授業での活用はもちろんのこと、学級での日常活動や学校行事などの場面で積極的な利用を進めていきたいと思っています。



朝の会で健康観察を行っています



生徒総会はオンラインで提案や承認が行われました



授業でもタブレット端末の効果的な活用が進められています(左から 英語・総合的な学習・理科の授業風景)

近々、タブレット端末の「持ち帰り訓練」を実施する予定です ～ご協力をお願いいたします～

★実施期間 5月28日(金)～30日(日)

※5月31日(月)に学習用タブレットを学校に持ってきます。

- ★内 容
- ①生徒がパスコードを入力して学習用タブレットを起動する。
 - ②「Wi-Fi 接続 設定マニュアル」の順に従って、学習用タブレットを家庭の Wi-Fi に接続する。(保護者の方でお願いします)
 - ③生徒が学習支援ソフト SKYMENU を立ち上げる。
 - ④5月28日(金)は、SKYMENU の課題用発表ノートに取り組む。
 - ⑤5月29日(土)、30日(日)は、生徒が健康観察に取り組む。

★そ の 他 ・自宅に Wi-Fi 環境がない場合は5月25日(月)までに、また、「SKYMENU Cloud」が起動しなかったり、ネットワークにつながらなかったりなどの場合は、5月31日(月)に、担任に申し出てください。

「持ち帰り訓練」は、6月7日(月)以降、隔週で原則月曜日に行う予定です。また、長期休業中は学習用タブレットを持ち帰り、家庭学習やオンライン出校日等に活用することも考えています。

後期(10月12日～)は、毎週持ち帰ることを予定しています。(もちろん、家庭で学習目的のために、正しく学習用タブレットが活用できるということが、持ち帰りの大前提です)